

平成25年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	公園緑地施設管理事業						担当部	都市建設部		
	会計区分	一般会計			事業類型	法定受託系	担当課	みどり公園課			
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	花と緑推進係		
	総合計画 分野別計画	主目的	5 都市基盤		27 公園・緑地・緑道		4 市民と協働による公園・緑地・緑道の整備と管理を進める				
		副目的									
	予算区分	款	8	項	4	目	4	大	3	中	1
	根拠法令・個別計画										
	目的 (対象をどの様な状態にするのか)	市民にとって安全で楽しく快適に利用できる憩いの場所として公園、緑地を提供できるような管理を行う。									
	内容 (手段)	<p>○24年度実施内容 公園施設の修繕や作業員による維持補修を行うほか、業者委託により維持保守管理を行う。市職員は、運動場や広場の使用のための許可や電柱やガス管などの占有物の許可や、公園の管理業務と公園や街路樹などに不具合が発生した場合の、現場確認や軽易な維持補修、作業員や業者に修繕を発注し、指示を行うなどの維持業務にあっている。</p> <p>【直接経費の内訳】 公園緑地維持補修用人夫賃 (4,110千円) 講習会等参加旅費(101千円) 需用費(39,338千円) 光熱水費、修繕料 など 役務費(1,391千円) 通信運搬費、手数料、保険料 委託料(53,963千円) 除草委託、公園緑地設備保守管理委託、公園緑地清掃委託、小牧山北駐車場管理委託、森林害虫駆除委託、公園緑地施設長寿命化計画策定委託 小牧山樹木剪定委託 小牧山樹木整備基本計画策定委託 使用料及び賃借料(2,407千円) 駐車場用地借上料、下水道使用料、仮設トイレ借上料 公園緑地施設整備用資材購入費 花苗等(5,272千円) 公園緑地施設用備品購入費(1,069千円) 負担金、補助金及び交付金(186千円) 研修会負担金、日本公園緑地協会等負担金</p> <p>○25年度実施内容 【直接経費の内訳】 公園緑地維持補修用人夫賃 (4,140千円) 講習会等参加旅費(108千円) 需用費(43,185千円) 光熱水費、修繕料 など 役務費(1,971千円) 通信運搬費、手数料、保険料 委託料(60,285千円) 除草委託、公園緑地設備保守管理委託、公園緑地清掃委託、小牧山北駐車場管理委託、森林害虫駆除委託、公園緑地施設長寿命化計画策定委託、小牧山樹木剪定委託 使用料及び賃借料(3,160千円) 駐車場用地借上料、下水道使用料、仮設トイレ借上料 公園緑地施設整備用資材購入費 花苗等(2,000千円) 公園緑地施設用備品購入費(800千円) 負担金、補助金及び交付金(148千円) 研修会負担金、日本公園緑地協会等負担金</p>									
	受益者負担	無									

コスト			単位	H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25予算額
	費用	直接経費		千円	79,952	108,871	107,837
正職員		従事者数	人	1.50	1.50	1.50	1.50
		人件費	千円	7,995	7,995	7,995	7,995
その他職員		従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
		人件費	千円	0	0	0	0
費用合計		千円	87,947	116,866	115,832	123,792	
対前年比		%		132.8	99.1	106.8	
財源	一般財源		千円	69,759	95,328	84,916	96,123
	国・県支出金		千円	1,276	5,856	4,844	2,845
	その他財源		千円	16,912	15,682	26,072	24,824

業	活動指標名	単位		H22	H23	H24	H25
	績	修繕件数	件	目標	—	—	—
実績				48	50	50	
業	維持補修作業員	人	目標	—	—	—	—
			実績	334	349	300	
績	委託件数	件	目標	—	—	—	—
			実績	24	38	37	
業	成果指標名	単位		H22	H23	H24	H25
	公園緑地が充実していると 感じる市民の割合	%	目標	68.0	68.0	68.0	68.0
実績			70.5	74.3	73.7		
業			目標				
			実績				

事業の自己評価	平成24年度の実施結果	事業の達成状況	不具合箇所の早期発見、早期改修により、安全で安心して快適に利用できる憩いの場所として公園や緑地を提供している。				
		事業実施における課題	管理施設の増加及び老朽化が進んでおり維持管理費用の増加が懸念される。				
		事業を縮小・廃止したときの影響	不具合箇所の改修ができない、もしくは遅れることにより、公園の利用者の安全、安心が確保できず、快適に利用できなくなる。				
	平成25年度の改善内容	25年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	平成24年度に策定した小牧山樹木整備基本計画に基づき、小牧山の樹木を適正管理し、魅力あるものにしていく。 公園に引き続き、緑地及び緑道の長寿命化計画を策定する。				
平成26年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)				
	判定理由	現状の管理レベルを維持していく必要であるため。					
	26年度以降の改善案	都市公園については、平成25年度までに策定する長寿命化計画に基づきライフサイクルコストを縮減していく。					

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。本年度、策定を完了する公園緑地施設長寿命化計画に基づき計画的に改修工事を実施し、施設の長寿命化を図ること。